

令和元年度 新宿駅周辺防災対策協議会

講習会実施報告

2020年3月5日

鰐沢工学研究所
鰐沢 曜

令和元年度 講習会実施概要

■ 目的

- 地域防災力の向上に寄与するテーマを取り上げ、自助と共助を主とした災害対応活動を実践するために必要な知識や技術を身につける

■ 実施方針

- 地震防災訓練の効果を高める
- 訓練内容や地域特性に応じて必要なテーマを選定して実施する

■ 主な対象

- 協議会会員事業所・団体等

■ 実施テーマ

- 自衛消防活動
- 現地本部運営 ※訓練説明会を兼ねて実施
- 一時滞在施設運営 ※訓練説明会を兼ねて実施
- 傷病者対応
- 建物被害対応

■ 実施期間

- 2019年10月～2020年2月

■ その他

- 受講証の配布 ※自衛消防組織の震災対応活動講習会、応急救護講習会、建物被害対応の実践トレーニング
- ポスターの作成 ※自衛消防組織の震災対応活動講習会、応急救護講習会
- 協議会ホームページによる情報発信

令和元年度 講習会実施概要

日付	題目	目的	対象訓練	参加者	参加者(H30)
2019 10/2	自衛消防組織の震災 対応活動講習会	地震災害時における自衛 消防活動の流れ、役割、 活動要領を学ぶ	なし	28	34
10/16	現地本部運営講習会	災害時に使う実際のツー ルを活用し、現地本部運 営を模擬体験する	現地本部訓練	11	19
10/16	帰宅困難者一時滞在 施設運営講習会	一時滞在施設の設置、帰 宅困難者の受け入れ・滞在 時の対応等の要領を学 ぶ	一時滞在施設 訓練	20	89※1
11/18	応急救護講習会	地震災害等における応急 救護活動を実践的に学 ぶ	なし	25	49※2
2020 2/12	建物被害対応の実践 トレーニング	建物被害の特長や被害 の見かたを学び、建物調 査を体験する	なし	25	23

※1 平成30年度は、訓練形式で実施

※2 平成30年度は、2回(基礎コース・応用コース)の合計参加者数

自衛消防組織の震災対応活動講習会

日 時 2019年10月2日（水） 13：30～17：00
場 所 工学院大学 新宿キャンパス 28階 第1会議室、第4会議室
参 加 28名

■目的

大規模施設の地震災害時における自衛消防活動の一連の流れ、本部隊・地区隊の役割りおよび具体的な活動要領を学ぶ

■講師

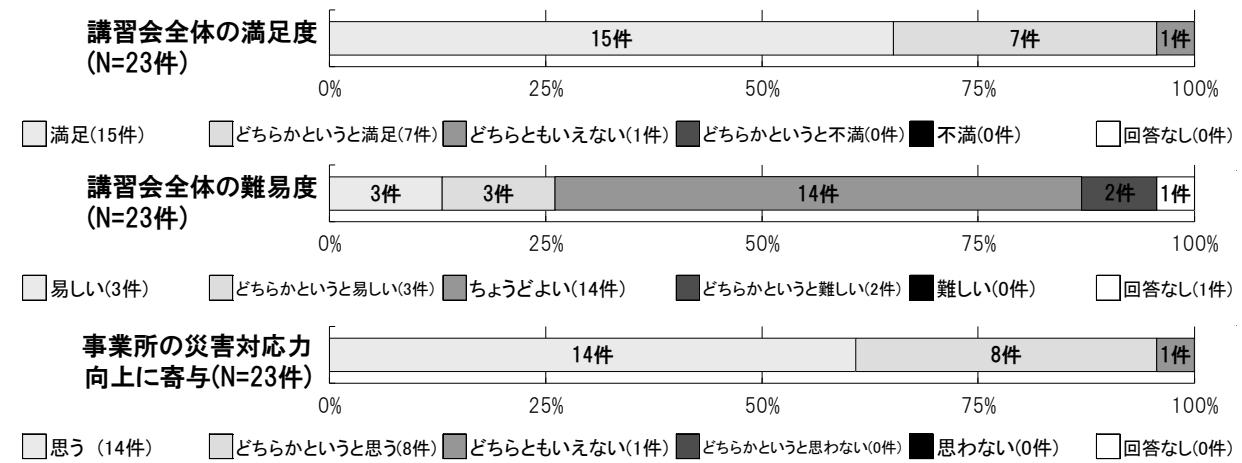
薩摩 幸喜 氏 東京消防庁新宿消防署 自衛消防担当係長 消防司令
 上倉 秀之 氏 FM防災Lab 代表
 鮎沢 曜 氏 鮎沢工学研究所 代表

■プログラム

13：30 開会
 13：35～14：20 座学講習（45分）
 （震災時における自衛消防活動）
 14：30～15：15 実技講習（45分）
 （通報、初期消火、避難誘導、救出）
 15：30～16：30 図上演習（60分）
 （自衛消防組織による情報マネジメント・意思決定）
 16：30～16：55 振り返り、質疑
 17：00 閉会



自衛消防組織の震災対応活動講習会アンケート調査結果(抜粋)



【具体的に役立つと思われた講習内容】※類似意見は集約

- ・自助・共助の考え方について
- ・自衛消防を組織したときの要注意事項を学んだ
- ・地区自衛消防隊の重要性をあらためて認識した
- ・座学講習で動画を見られたのは良かった
- ・粉末式の消火器の危険性について(避難路の確保)
- ・災害時救出訓練は事務所での消防、震災訓練では行なっていない内容なので参考になった
- ・バールを使用しての救助方法はわかりやすかった
- ・図上演習で時々刻々と変化する情報に対応する方法が体感として理解できた
- ・図上演習(各人の意見が参考になる)
- ・自衛消防隊の活動フローチャートについて

現地本部運営講習会

日 時 2019年10月16日（水） 13:30～16:30
場 所 工学院大学 新宿キャンパス 28階 第1会議室
参 加 11名

■目的

11月18日（金）に実施する地震防災訓練の説明会及び事前講習会として、災害時に使う実際のツール（「現地本部立ち上げキット」、様式、マニュアル等）を活用し、現地本部運営を模擬体験する

■講師

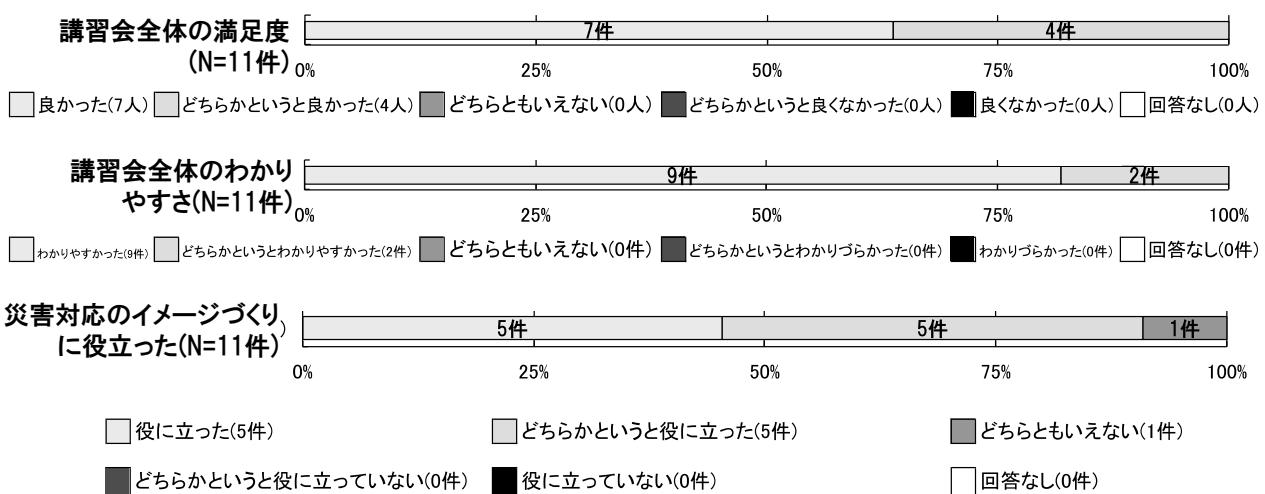
鈴木 光 氏 減災アトリエ主宰、(一社)減災ラボ 代表理事 総務省消防庁防災図上訓練指導員

■プログラム

13:30	開会
13:40～14:00	2019年度現地本部訓練について（20分）
14:00～14:10	講習会の進め方の説明、前提条件の解説（10分）
14:10～15:20	現地本部疑似体験＆ディスカッション（70分）
15:30～16:20	ふりかえりと共有（50分）
16:20～16:30	まとめ



現地本部運営講習会 アンケート調査結果(抜粋)



【現地本部活用のアイデア等】

現地本部人員確保の方法

- ・より多くの人が参加した訓練しかないとと思う(現状の条件で何かできるかやらなければ成らないかを知る)
- ・情報共有の方法

- ・西口現地本部の役割を明確化し周知が必要だと思った(西口現地本部ではどのようなことを把握しており、どのような解答が得られるかなど)
- ・防災訓練の実施状況を地域の皆さんと共有できると良い、サイネージで流す等

訓練の取り組み

- ・難しい課題、意識の向上から
- ・しっかりと本部内でしなければいけないことを明確にする必要があると思う

帰宅困難者一時滞在施設運営講習会

日 時 2019年10月16日(水) 13:30~16:30

場 所 工学院大学 新宿キャンパス 28階 第4会議室

参 加 20名

■目的

11月18日(金)に実施する地震防災訓練の説明会及び事前講習会として、一時滞在施設の設置、帰宅困難者の受入れ・滞在時の対応等の要領を学ぶ

■講師

宮田 桜子 氏 SOMPOリスクマネジメント株式会社 BCMコンサルティング部 企業グループ

■プログラム

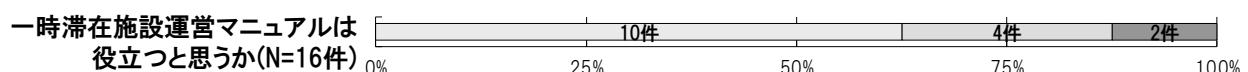
- | | |
|-------------|---------------------------------|
| 13:30~13:35 | あいさつ、趣旨説明(5分) |
| 13:35~14:00 | 19年度訓練について(25分) |
| 14:05~14:20 | マニュアル、キット等の概要説明(15分) |
| 14:30~14:40 | 参加者団体自己紹介(10分) |
| 14:40~15:40 | 図上演習①施設開設の準備
②一時滞在施設の運営(60分) |
| 15:40~16:20 | 11/8訓練用レイアウト決定、気づきの共有(40分) |
| 16:20~16:30 | 事務連絡、アンケート記入、閉会(10分) |



帰宅困難者一時滞在施設運営講習会 アンケート調査結果(抜粋)



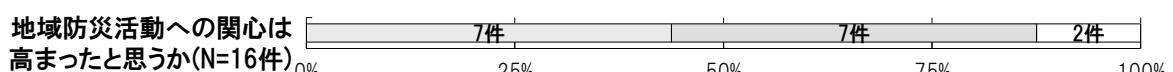
良かった(10人) どちらかというと良かった(6人) どちらともいえない(0人) どちらかというと良くなかった(0人) 良くなかった(0人) 回答なし(0人)



そう思う(10人) どちらかというとそう思う(4人) どちらともいえない(2人) どちらかというとそうは思わない(0人) そうは思わない(0人) 回答なし(0人)



そう思う(9人) どちらかというとそう思う(4人) どちらともいえない(3人) どちらかというとそうは思わない(0人) そうは思わない(0人) 回答なし(0人)



そう思う(7人) どちらかというとそう思う(7人) どちらともいえない(0人) どちらかというとそうは思わない(0人) そうは思わない(0人) 回答なし(2人)

【ご意見・ご感想等】

- ・ゲームでも体験できてよかったです
- ・大変ありがたい講習である
- ・帰宅困難者(外部)が入り込むのを防ぐ方法があればいいと思った

応急救護講習会

協力 東京消防庁新宿消防署、日本赤十字社東京都支部、新宿区医師会

日 時 2019年11月18日(月) 13:30~17:00

場 所 日本赤十字社東京都支部 2階 大会議室

参 加 25名

■目的

傷病者対応に必要な基礎知識・技術を身に着けるとともに、地震災害等における応急救護活動を実践的に学ぶ

■講師

中 猛 氏 東京消防庁新宿消防署 救急技術担当係長

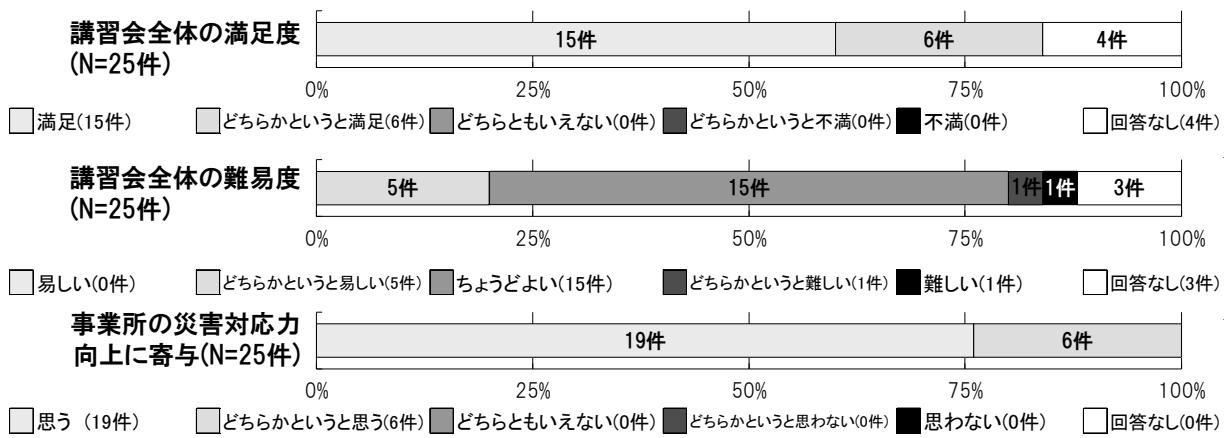
高桑 大介 氏 日本赤十字社東京都支部 事業部長

■プログラム

13:30	開会
13:35~14:05	座学講習(30分)
14:10~15:40	実技講習(90分)
15:50~16:50	総合演習(60分)
17:00	閉会



応急救護講習会アンケート調査結果(抜粋)



【具体的に役立つと思われた講習内容】※類似意見は集約

- ・応急救護の基本的な事を実際にを行い、今後の仕事に若干でも役立つと思う。
- ・体験的訓練ができて参考になった。
- ・総合演習は貴重な経験になった。
- ・一度講習は受けてもいざとなると忘れていること多く復習の意味をふくめて良かった。
- ・実技講習が大変勉強になりました。
- ・怪我の手当てと三角巾の使用方法
- ・傷病者搬送要領、担架の使用方法
- ・毛布の使い方
- ・傷病者情報記録の必要性～トリアージの際や今後の治療の参考となる
- ・観察記録シート

建物被害対応の実践トレーニング

協力 東京建築士会新宿支部

日 時 2020年2月12日（水） 13：30～17：00
場 所 工学院大学 新宿キャンパス 3階 アーバンテックホール
参 加 25名

■目的

建物被害の特長や被害の見かたを理解し、地震災害時における建物被害調査の仕方を実践的に学ぶ

■講師

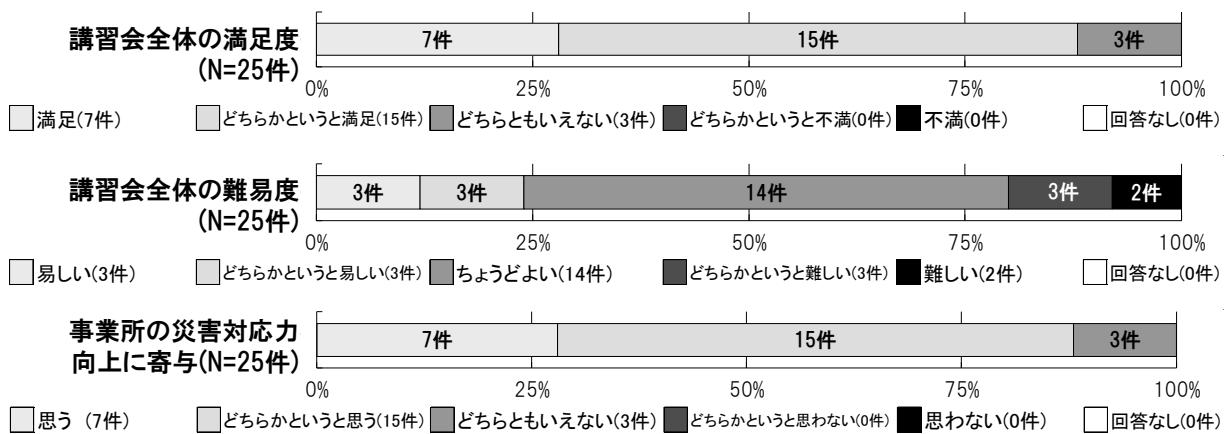
諒訪 仁 氏 株式会社大林組 技術研究所 構造技術研究部 上席研究員
田中 聰 氏 常葉大学 社会環境学部 教授
中嶋 洋介 氏 株式会社イー・アール・エス エンジニアリング部 チーフエンジニア
鰐沢 曜 氏 鰐沢工学研究所 代表(東京建築士会新宿支部)
宮村 正光 氏 工学院大学客員研究員

■プログラム

13：30 開会
13：35～14：35 解説（60分）
「建物被害調査のための基礎知識」
14：45～16：15 演習（90分）
「建物被害調査体験」
16：25～16：55 振り返り（30分）
17：00 閉会



建物被害対応の実践トレーニング アンケート調査結果(抜粋)

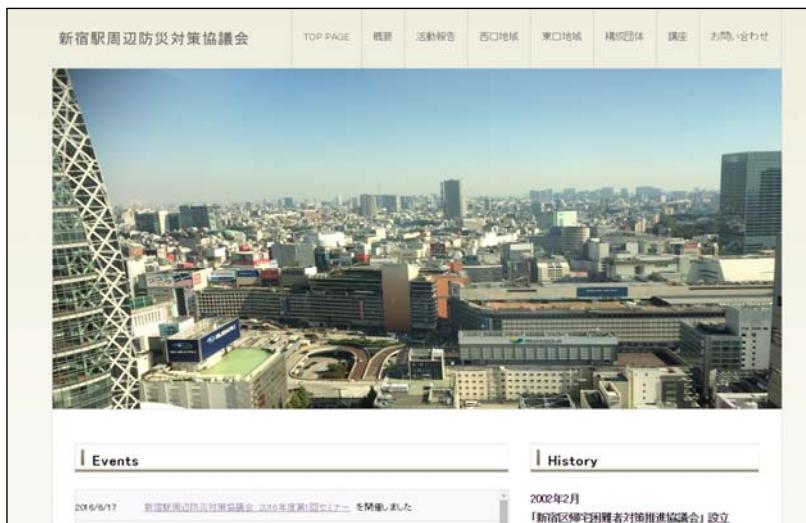


【具体的に役立つと思われた講習内容】 ※類似意見は集約

- ・実践型のトレーニングは、職場ではなかなか体験できないので参考になった
- ・建物被害調査のための基礎知識
- ・建物の構造体の計測による確認方法
- ・構造体と非構造部材の被害の違いと建物外部・内部の調査方法
- ・建物被害調査の演習
- ・初動対応(状況確認)のための建物チェックシート
- ・建物チェックシートを用いて、統一した書式により情報を収集する点
- ・共通の認識で被害状況を報告できれば迅速に対応ができるため、新宿駅周辺の共通としたいと思う
- ・スマホ活用によりスムーズに被害情報が提供できる。
- ・被害調査アプリの使用方法
- ・アプリで被害場所を入力し、共有

ホームページによる情報発信

- 活動予定の掲載
- 開催告知(チラシ)・活動履歴の掲載
- 配布資料の掲載 ※一部非公開資料を除く



新宿駅周辺防災対策協議会Webサイト (http://kouzou.cc.kogakuin.ac.jp/ssa_bousai/index.html)

19

令和元年度 新宿駅周辺防災対策協議会
第2回西口地域部会 2020年2月28日

まとめ

■令和元年度 講習会実施報告

□実施概要

- 目的、実施方針、テーマ、参加者数等

□個別講習内容・アンケート調査結果の概要

- 自衛消防組織の震災対応活動講習会
- 現地本部運営講習会
- 帰宅困難者一時滞在施設運営講習会
- 応急救護講習会
- 建物被害対応の実践トレーニング

□協議会ホームページによる情報発信

令和元年度 新宿駅周辺防災対策協議会
第2回西口地域部会 2020年2月28日

20